

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3 年	学科	全学科	必選	
教科	理科	科目	生物基礎	単位	2 単位
使用教材	教科書：高等学校 新生物基礎(第一学習社) 副教材：新課程版 ネオパルノート生物基礎 (第一学習社)				
学習目標	①日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ②観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 第2節 生物とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成		・様々な生物の比較に基づいて、多様な生物の中にもいくつかの共通性があ		
			ることをその起源性に着目しながら学習する。		
			・生命活動で必要とされるエネルギー転換を、代謝の概要の中で学ぶ。		
			・実験や資料を通して、遺伝情報を担う物質としてのDNAのはたらきや		
2 学期	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達 第2節 免疫 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移		性質、DNAの情報に基づくタンパク質の合成について学習する。		
			・実験・観察を通して恒常性のしくみを学習し、体内環境の維持と健康との		
			関わりについて考えを深める。		
			・身近な疾患の例など免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御		
3 学期	第2節 生態系とその保全		機能が備わっていることを理解する。		
			・植生・バイオーム・生態系の多様性について身近な植生の観察などを		
			通して学習する。		
			・生態系の成り立ちを学習し、その保全の重要性について理解を深める。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	さまざまな自然現象について基礎的な知識を身に付ける。 理科の見方・考え方を習得し、見通しをもった観察や実験方法を身に付ける。			
II	思考・判断・表現	身の回りの事物・現象を地球規模の環境まで視野に入れ、科学的、多面的、総合的に表現 できる。観察・実験より、結果や考察を科学的に相手に伝えることができる。			
III	主体的に学習に 取り組む態度	さまざまな自然現象について意欲的に理解しようとし、科学的な見方や考え方ができる。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	○定期テスト(年4回) ○小テスト ○授業プリント ○問題演習 ○実験操作 ○レポート		○定期テスト(年4回) ○問題演習 ○レポート ○発表		○定期テスト(年4回) ○授業態度 ○授業プリント ○振り返りシート ○発表 ○実験 ○課題(宿題)
					年間時数
					70 時間
置賜農業 育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			